



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

LET SERVICE LIGHT THE WAY

奉仕の灯で道を照らそう  
R.I 会長 James L. Bomar Jr.

第 85 回 例会 1980 年 2 月 28 日 (木) 雪 第90号

出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
30名	25名	83.33%	100%
欠席者 蜂屋, 古木, 高山, 辻, 保田			

芦田会長テーマ 友愛と協調

司会 芦田会長

## ゲスト

小堀憲助氏

## ビジター

矢部隆司君 (横浜瀬谷), 星幸男君, 小沢睦男君, 吉利正勝君, 竹村孟昭君, 宮東悠君, 矢口禎男君 (大和RC)

## 会長報告

- 第6分区 IGFが3月20日千寿閣に於て開催されます。登録開始 12.00, フォーラム終了 15.30, 懇談会 16.00~18.00 となっております。皆様のご出席を期待しております。
- 小堀先生の主催されている、千種会の神奈川研修会が3月8日(土), 9日(日), 川崎市中小企業, 婦人会館で行われます。有志の方, 多数お出掛け下さい。

## 幹事報告

- IGFは全員登録と致しますので, 個人負担 ¥3,000 を事務局に納入して下さい。

その際5周年協力金¥2,000(1, 2月分)もよろしくお願い致します。

- 75周年記念事業について, 神奈川新聞と地方紙さいこの花に掲載されております, 黒板に貼って置きますので, ご一読下さい。
- 例会後, 理事役員会を開催します。

## 委員会報告

青少年奉仕委員会 伊藤英夫委員長

- 青少年養成セミナー当クラブからも1名参加させたいので, 候補者を推薦して下さい。

プログラム委員会 土屋委員長

- 3月6日, 卓話, 次の如く変更して下さい。  
「ロ財団基金による留学を終わって」

社会奉仕委員会 伊藤正男委員長

- 大和市図書館に寄附するロータリー書架, 只今200冊ほど集まっております。3月末日にて締め切らせて頂きます。ご協力下さい。

本日のプログラム 3月6日  
「ロ財基金留学を終わって」 村上雅子さん

次週予定 3月13日  
「コンピューターの話」 辻 国明君

1. 真実かどうか  
2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか  
4. みんなのためになるかどうか

事務所 : 大和中央1-5-40  
及び 大和市商工会館内  
例会場 電話0462(63)7926

例会日 : 毎週木曜日12時30分より  
会長 : 芦田 敬治 副会長 : 佐藤 実  
幹事 : 北砂 富三 会報委員 : 上田・竹之内・郡司

## 「ロータリーとは」(その5)

小堀 憲助氏(川崎北RC)

今日はシリーズの5回目として国際奉仕についてお話しを進めて参りたいと思っております。

前回はロータリーがあるお蔭で奉仕があるのではないのです、ロータリアンがいるお蔭でRCがあるのです、という様なことについて申し述べて参りましたが、一生を社会奉仕の為につくされた偉い人達は、ロータリーが出来ずずっと以前から多勢いらったわけで、奉仕は何にもロータリーのお家芸でもなんでもないので。

それでは、ロータリーとは何んでありましょうか。1つの職種から、1人の最も男気のある職業人を集め、気分が開放的になったところで、自分の奉仕のエネルギーに磨きを掛けて頂こうという事です。これが社会的に存在価値があるので、自分とは異った良質の企業人と附合うことによって、自分の業界では得られない発想と男気の内容を良質化し、例会場を出た次の瞬間から自分を取り廻している千差万別の地域社会の世のため人の為になろうとする努力であります。

個人奉仕のエネルギーを良質化するためにクラブ活動を行っているのである、この事については前回お話しを致しました。ロータリアンが奉仕の実践活動を行う時に、団体行動をとることは例外的な事でありまして、団体活動をしますのは、出来の悪いロータリアンを教育するという目的の場合に行われます。従いまして全世界の又はクラブのロータリアンに取って、共通の課題による奉仕の実践プログラム等はありません。各人各様にしっかり行っていけば、クラブが団結して活動を行うことなど、必要のないことです。人間、神様でないのでやる気のないロータリアンを教育するためにクラブ事業計画などが存在しているのです。

況や、国際ロータリーが事業計画を提唱するなんて事は例外でなければいけないのです。ややもすると時としてこの危険な道を辿っているように

思えますが、我々は真面目に自覚し、ロータリー本来の姿に戻さなければいけないのです。

それはそれとしまして国際ロータリーがあるお蔭で国際奉仕があるわけではありません。ロータリアンは一人一人の奉仕のエネルギーを持って国際社会へと散って行くのです。アメリカにロータリーが創始された頃は、まだ駅馬車の時代でしたからそれ程遠くへは行けなかったのです。当時の個人としての行動範囲はそれ程広いものではなかったのです。

ロータリーの主要な課題はロータリアンが例会に出席して、良質の改良された男気を地域社会万般のことどもに費やすことに満足するという事であろうと思えます。

内なる燃えた心を持った、ロータリアンが外国に出掛けて行き、又外国で何にかニュース、パリュウの状態が起った場合、その典型なるものは戦争であります、それに対処した奉仕活動をしようというのが国際奉仕であります。

1914年 第1次世界大戦が勃発し、難民救済のため、英国のR I B I が活動したのです。

1917年、米国は参戦、1918年、世界大戦終了。

世界中が戦争に巻きこまれた際にロータリーの持つ、政治上中立の関点からすれば、ロータリーそのものには戦争に対する責任などというものはないのでありますが、しかし個々のロータリアンとなりますとそれぞれに異なった国籍を持っておりますので、当然対応の仕方も、まちまちであります。

戦争とは何にか? 国と国との喧嘩であります、この事について、ポールP. ハリス は心を砕いておりまして有名な言葉を残しております。

国家は戦争を行うがゆえに罪悪である。この哲学理論について述べる時間を持ちませんので、ご希望の方は千種会にお出掛け下さい。国家の本質とロータリー哲学との係り合いについてはここでは触れませんが、何わともあれ世界戦争が起ってみますと、戦争と呼ばれる国際社会の異常状態は個々のロータリアンにとっては、奉仕の実践の場となったのです。ロータリーは個人奉仕を概念と

しておりますので国際奉仕が出来るのです。団体奉仕を主体としているライオンズクラブ等では、そのテントリーの枠があるために国際奉仕という様な思考が出にくかったのだと思われます。

1910年以降奉仕活動とはそれぞれの地域社会において、そのクラブの外にあって、個人奉仕のエネルギーを、世の為め、人の為めにつくすということでもあります。世界大戦が始り、そこに社会的変化が生じますと、奉仕の実践の場が出来て参ります。

個人の責任において奉仕のプログラムが作られるのです。自分が社会に問いかけるエネルギーの限界は、どの程度なのか。どういうプロジェクトを組むのか。自分で考えるのであります。そして不足のものがあれば、他のロータリアンに呼び掛けるのです。当時のアメリカのロータリアンはこの様にして難民救済、傷病兵士の慰問と激励等々を行ったのです。

所が、アメリカは人種の坩堝でありますから、例えば、ドイツ系の人達は村八分的な雰囲気さらされたのです。しかし偶々彼らの祖先がドイツであっただけの事で、彼等は善良なアメリカ人ではないか、そんな事をするもので無い。この考えが初期ロータリーの国際奉仕を提唱する切っ掛けとなったのです。

日本のクラブは、英国のロンドン方式に近いもので、そのテリトリーは狭いのですが、アメリカのそれは極めて大きいのです。

そこで、国際奉仕も個人奉仕で結構だがテリトリーのずうっと向うで実践活動を行う場合はどうしたらよいだろう、また若し団体奉仕の型でこの問題に取り組もうとすると、この国際奉仕は政治問題となる危険性がある。この2つの問題を解決するために第一次大戦終了の翌年の**1919年 ソールト レーク大会**が開かれたのです。そして国際奉仕をロータリーの正当な奉仕活動と決定したのです。

しかし、戦争という異常状態に対応しての活動を国際奉仕というのでは、一寸矛盾があります。

戦争が無ければ国際奉仕はあり得ないのか。も

う1つのロータリーの奉仕哲学との相関関係において物事を考える必要性を感じたのです。ロータリー運動の本態は地域社会の男気のある職業人がお互に和睦の心を極めていく、その心を踏まえた男気のあるロータリアンが爆発的にその力を拡大し、ロータリアンでない人達とも、手と手を取り合って、世界運動に参加することが出来ないものであろうか。国籍の異いは問わず、この輪が広がって行き、ロータリアンが中心となって、全世界の人達と、和の心を持って、手に手つないだら戦争の勃発を予防する事も可能ではないのか。

戦争が起ろうと、起るまいとに拘らず、我々ロータリーの開発している善意のエネルギー改善を持って、地球上の総べての人達と、手を取り合って、戦争を防ぎ、世界平和の確立に寄与することが出来ないものであろうか。

**1921年 エジンバラ大会** 決議として、これが国際奉仕の理論的中核概念として認められたのです。

奉仕の理想に結ばれた職業人の親睦のエネルギーを通うして、世界的な理解と善意とそして世界平和の樹立を推進すべきこと、と国際ロータリー定款、綱領、第4項に述べられております。

この様にしまして、戦争になろうとなるまいと和睦の心を育成して行こうという、国際奉仕、国家間の社会情勢が悪化すればする程、その活動の重要性がたかまるのです。

**1935年頃**になりますと、第二次世界大戦の暗雲が漂いはじめたのです。ロータリー運動の中心におります、ポールP. ハリスは世界中に散らばっている、ロータリアンの心を纏めて、世界戦争への突入を避けたいと努力をしたのでした……結果は失敗に終わってしまったのです。

そしてあの原子爆弾によって、その終決を迎えたのでありますが、日本は世界で只1つの被爆国であることを自覚し、世界に対して物を申しねばならない立場にあるのだという事を忘れてはなりません。

その様に致しまして、戦争の危険性が高まって参りますと第三次世界大戦は起こしてはいけな

んだ、という意識が生じて来ました。

1951年～53年、世界平和を目的とした**国際奉仕の実践要綱**が討議され(手続要覧P114)ております。要覧には8項目にわたって述べられておりますが、私はこれをより簡潔とし4つに総めて理解しております。

① それぞれのロータリアンは自国の持つ諸々の国家的伝統を世界で最も立派なものと認め誇りを持つべきこと。

② 自国の伝統を自負するの余り、他国のものに対して優越感に溺れてはならないこと。

③ 謙虚に首をたれ、他国民の意見に耳を傾けること。

これ即ち、ロータリーの共存共栄の論理であります。

この様な考え方は何処から来ているのでしょうか。これはクラブ奉仕論なのです。

それぞれのロータリアンは世界一立派な職業であるとの誇りを持っています。しかし自分の職業の優秀性を認めるのあまり、他の職業に優越感を持ってはいけません。そして他のロータリアンの言う事に耳を傾けなさい。そうすれば貴方の心は育ち、力量は大きくなり社会的な効果は抜本的に飛躍するのです。この事が国際的に拡大されたのが国際奉仕なのです。

さあ、第4番目は次のようです。

④ 国際奉仕といえども個人奉仕でなければいけないこと。

そんなこといわれたって、大和にいて何が出来るのか、とおっしゃる方も多いと思いますが、個人奉仕は因縁の熟した方から行って頂けばよいのです。個々のロータリアンの男気によって国際奉仕が活動しておりますれば、これだけ世界中に、ロータリアンがいるのですから、国際間の問題は必ず分と解決されているのです。

自分達には末だ、国際奉仕を行うだけのものが熟していない方、恥ずかしがる必要は毛頭ありません、それまで待てばよろしいのです。

この様にいたしまして、1960年 世界の1部に局所的な罅迫合いはありましたが、これからは世界

大戦の発生はなくなるだろうと期待されます。

従来国際奉仕は国家が乱立していることを前提として、国家のお家の事情を考えながら行われて参りましたが、最近地球を1つの地域社会として捉えようと考え方が生れて来ております。大変結構な事ですが、1つ問題があるのです。

**これは貧富の地域格差です** 国民が皆一生懸命に働いたとして、所詮は自分の国が富むことを思っています。このお手本が日本であります。後進国の人達に、オレ達と同じように頑張ったらどうだと云う。これは自他をわかつ思考といえます。それぞれにお家の事情が違うのですから、ここに、**自他を包摂する心が必要となるのです。**

ブラジルの国際経済学者が提唱している考へ、**地域は1つの富み**という見方を理解すべきでしょう。世界の富の75%は、アメリカ、西ドイツ、日本、カナダ、フランス、イギリス、オーストラリア等、その多くは北半球に居住している僅か30%の先進民族によって独占されているのです。

残りの25%の富が、世界全人口の70%に当る無産階級の人達に与えられているに過ぎないのです。

彼らは原則として南半球に住んでいます。彼らは徹底的な貧困のあまり、人を信ずる事が出来ないのです。人間が今日の財を成す事が出来たのは、お互に合いより、合い助けあって栄えて来たのですが、人を信じ合う事が出来なければ社会を形成することも出来ず、グループ活動なども行えないのです。これ等の人達は何んの楽しみがあって生きているのでありましょうか。それはSexなのです。子供がやたらと多いのはその為なのです。20年後には、どうなる事でしょうか。

大飢饉がやって来るのです。これは先進国の繁栄の大きな壁になる筈です。先進国の職業人は自分達の繁栄を永続させるためにも後進国の人々に自立心を起させるような援助を考慮すべきでありましょう。

ある国が、他国に援助を与える場合には必らずその国の富をさらにとましめるというエゴイズムが働き返って後進国の育成を妨げてしまうのです。

国家の富を分つのは、有害無益でしかあり得な

いのです。

そこで先進国の人達が、男気を出して後進国の現地にとび、彼らと同じ土俵の上で、お互に協力してプロジェクトを進め、2年位して彼らにやる気が起ったところでなにも求めずに、さあっと引上げて来る。なかなか出来る事ではありませんが最も効果的な方法といえます。

世界は1つその貧富の地域差を少しでも無くしたい、それにはロータリアンが個人奉仕の型で参加し、彼らに自立心を与える必要がある、この様な奉仕の実践パターンは**1968年世界社会奉仕**としてエバンス会長によって提起されたのです。それ以降、世界社会奉仕をやろうと世界中のロータリアンが頑張っているようですがなかなか捗りません。

でも、例外としてオーストラリア周辺に成功例を見出すことが出来ます。建築会社の社長でオーストラリアの大富豪、一寸桁が違います、使っても使ってもお金が増えてしまう。そんなロータリアンがパプア、ニューギニアのお粗末であったキリスト教病院を建て直し、立派な近代的病院とし、地元民から感謝されているようです。この輪が広がり、大富豪たちがアフリカ、ボルネオ、マレーシャにと奉仕活動を展開しております。

また他の団体、ライオンズクラブとかキリスト教団体とかも参加しある場所では嬉しい悲鳴を上げるとい事が起りだしたのです。

そこで、お互に情報を交換し有効にして機能的な奉仕プロジェクトが組めるようにとの計らいで**国際奉仕計画諮問委員会**が成立されたのです。この委員会においてロータリーは名誉ある地位を得ているのであります。

この様にいたしまして世界中に広がっておりますロータリアンによって個人奉仕の非常に純度の高い、後進国への実践活動が行われているのであります。

いかんせん我々には未だ因縁が熟しておりませんが、無理をしても背伸びの奉仕となってしまいますので、因縁が熟するように先づ努力して行く事が必要なのです。

さし当って、ロータリアンは最も身近なクラブ奉仕、職業奉仕その辺から実力の熟成を進め、段階的な努力が望まれるのです。

それ迄、何も出来ないのか。1つあります。

若者の実行派によるボランティア活動**青年海外協力体**のプロジェクトを理解する事です。皆さんの職員のなかから、この協力体に参加したい者が現れた際には、又その様な雰囲気盛り上げていく際にも温いご配慮を頂きたいのです。青年海外協力体から直接援助を求めてくる場合には、ちり紙カレンダー等極く身近な物を要請して来ますので協力して下さい。

ロータリーはいろいろなものを持っておりますので、自分が出来ない場合でも、それに替わるもの、皆さんの職場から青年海外協力体に参加出来るよう仕向けて頂きたいのです。この事は小さな世界社会奉仕の実践につながるものと受取って頂きたいのです。

地球上の総べての人々の貧富の格差をなくし彼らに誇りと責任をもって自立出来るような支援を国家の力を借りないで行なうという事であります。

今日の国際奉仕のお話しは、今迄の政治社会の対立、国家と国家との対立、国際紛争を前提とする奉仕の実践パターンから抜け出し国家を考えず地球を1つとして考えて行く、これが将来の国際奉仕の姿であろうと思われます。

今回、ロータリー財団についてお話し申し上げる時間がなくなってしまいましたが、私は多少口財団に惚れこんでおりますので、その原理的反省についても30分の卓話の時間を頂いて述べさせて頂きたいと考えております。ご清聴を感謝いたします。



# 委員会活動

## 親睦活動委員会 中西委員長

- 先日の家族会、皆様のご出席感謝いたします。
- 本日のお祝い、お誕生日、竹之内弘美君（2月22日）、結婚記念日、保田 達君（2月23日）創業記念日、竹之内弘美君（2月22日）、上田利久君（2月25日）、北砂富三君（3月1日）入会記念日、木崎健祐君（54年2月22日）。

## ゴルフ同好会 富沢幹事

- 第3回、コンペ4月27日（日）藤沢GCに決定しましたので皆さん予定しておいて下さい。

## スマイル

横浜瀬谷RC 矢部会員、久しぶりでお世話になります。どうぞよろしく願い致します。

大和RC 星会員、本日もよろしく

大和RC 小沢会員、お世話になります。宜しく御願い申し上げます。

大和RC 吉利会員 またまたお邪魔致します。

大和RC 宮東会員 今日大変お世話に成ります。

松本会員 75周年記念祝賀会には大勢の方々に参加して頂きにぎやかに祝賀会が行う事が出来ました皆様の御協力に感謝致します。星先生卓話を有難うございました。

竹之内会員 誕生日と創業記念日が2月22日と同じ日で、同時にお祝をいただき有難うございます。

郡司会員 息子の高校入学が決まりまして。

佐藤会員 私の女房、おかげさまで、手術後順調に経過しています。皆様の御好意と友情に感謝しスマイル致します。

木崎会員 早いもので丁度満1年になります。これから、益々頑張りますので宜敷く御願います。

亀谷会員 風邪で休みまして皆様に迷惑を御かけ

しました。やっと快復しました。

北砂会員 ローターが日本に上陸した大正9年より、日本に営業しています。頑張っています宜しく。

上田会員 自動車省エネルギーについて資料、炉辺会合の時のコピーが読みにくくはと伊藤さんから鮮明な資料を速達にて送って下さいました。会報を担当するものとして感謝いたします。

上田会員 開業7年目を迎え、可愛い子供達にかこまれ忙しいうちにも充実した毎日を通して頂いております。お祝い有難うございました。

